

FASB及びIASBから最近公表された文書

1. FASB

金融危機対応への一環で、3月17日、FASBから以下の公開草案（コメント期限：4月1日。なお、2009年3月四半期及び年度決算から適用。）が公表されている。

(1) FSP FAS157-e（公開草案）

(http://72.3.243.42/fasb_staff_positions/prop_fsp_fas157-e.pdf)

SFAS157において公正価値測定のある方が示されているが、多くの関係者から、市場が活発(active)か、投げ売り状態(distressed)かを判断する際の指針が不足しているとの指摘がされていた。このため、本公開草案では、当該判断に関する追加的指針が示されている。

(2) FSP FAS115-a, FAS124-a, EITF99-20-b（公開草案）

(http://72.3.243.42/fasb_staff_positions/prop_fsp_fas115-a_fas124-a_and_eitf99-20-b.pdf)

SFAS115等において有価証券に関する減損が一時的でない(other than temporary impairment)と判断される場合に評価損を計上することが求められているが、関係者から、現下の市場環境によって実際のキャッシュフロー見込以上に価格が下落している他、当該定めが債権に対する損失計上のあり方と整合していない旨等が指摘されていた。このため、本公開草案では、有価証券の評価損を計上する際の判断基準を一部改訂するとともに、一部の債券について評価損を信用リスクとそれ以外に区分した上で会計処理を行う方法が示されている。

2. IASB

(1) 金融危機助言グループ（FCAG：Financial Crisis Advisory Group）からの意見募集

(<http://www.iasb.org/News/Financial+Crisis+Advisory+Group+Seeking+Input+from+Constituents.htm>)

FCAG¹は、IASB/FASBへの提案を取り纏めることを目的にこれまで3回の会合を開催してきたが、3月10日、金融危機との関係における財務報告の役割、貸倒引当金の計上方法、オフバランスシート事業体の連結、金融商品の評価方法のあり方等について、報告書を取り纏める上での意見募集（コメント期限：4月2日）を公表している。

(2) FASBからの公開草案に関する意見募集

(http://www.iasb.org/NR/rdonlyres/828B2916-D11D-47A6-9B18-4E970619476A/0/RequestVews19March_rev.pdf)

¹ IASB/FASBは、金融安定化フォーラム（FSF）からの提言等を踏まえ、金融商品に関する会計基準等について検討を進めてきたが、金融界の有識者から意見を得る等の観点から、昨年12月にハイレベルのメンバーから構成される金融危機助言グループ（FCAG）を組成した。

FASB からの上記公開草案の公表を踏まえ、3月20日、IASBも同公開草案に対する意見を募集している（コメント期限：4月20日）。なお、本意見募集はIASBによる正式なデュー・プロセス文書ではないが、寄せられたコメントは公開草案を公表すべきかを判断する上で検討するとされている。

3. IASB と FASB－プレスリリース「世界的な金融危機に対応する今後のステップ」（3月24日）

(<http://www.iasb.org/NR/rdonlyres/B30BEBEB-F945-47B9-944D-2F313D56DCB0/0/PRjointboardIASBFASBmeeting3.pdf>)

IASB/FASB は、合同会議を受けて、①連結及び認識の中止に関して、FASB が短期改訂プロジェクト終了後、IASB が開発中のプロジェクトを共同プロジェクトとし、共通の基準に向けて作業すること、②数年ではなく数か月のうちに (in a matter of months, not years)、現行のそれぞれの金融商品会計基準を共通の基準に置き換える提案を公表することに合意した。なお、FCAG は、第2四半期に提言書を公表する予定であるとしている。

以 上